

輸出事業計画

※申請者名：JAひまわり、品目：バラ

1. 輸出における現状と課題

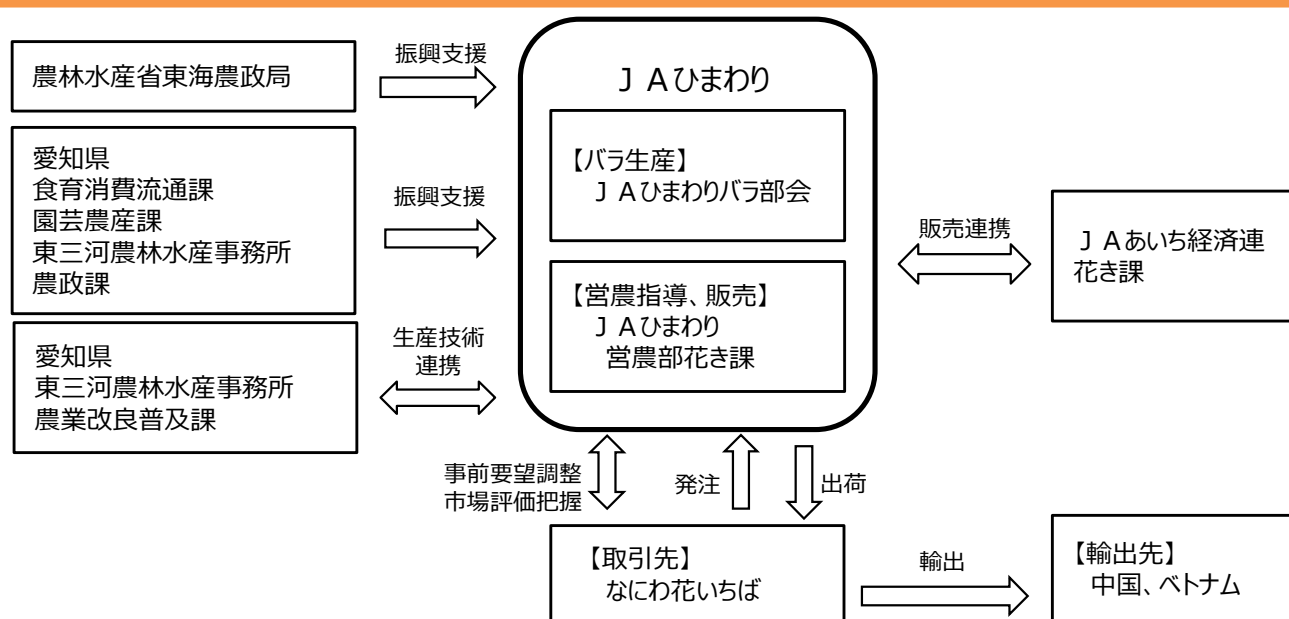
海外において日本産のバラは品質の高さをセールスポイントにした需要が見込まれ、需要の高い品種の安定した生産量の確保や収穫後のバラの鮮度保持が求められている。

【課題】輸出に合った品種選定、品質の高いバラの安定生産

2. 輸出事業計画の取組内容

- ヒートポンプを活用した夜間冷房などの環境制御を通じて、出荷量の安定と品質向上に取り組む。
- 病害虫の発生防止のため、農薬の適切な使用だけでなく、耕種的防除や適切な肥培管理なども含めた総合的防除に努める。
- 収穫後の品質保持を実現するため、新たに整備する集出荷施設の保冷機能を活用する。加えて、現地までの輸送に要する時間を想定した収穫時期（開花度合）の判断をするため、事前試験を実施する。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	現状（令和3年度）	目標年（令和7年度）
輸出額（千円）	8	1,000
輸出量（箱/40本）	2	250
輸出先国	中国、ベトナム	中国、ベトナム